

(様式第2号)

【病院薬剤師卒後研修プログラム概要版】

病院名:水戸済生会総合病院

所在地:茨城県水戸市双葉台3-3-10



1 プログラムの名称

水戸済生会総合病院 薬剤師卒後研修プログラム

2 プログラムの目的と特色

1年目に薬剤師としての基礎的な業務を一通り習得できるプログラムを設置。2年目以降、知識の習得度に応じて薬物療法における各診療域の認定薬剤師の指導の下、医療チームに参加して必要な知識、技能、臨床経験を取得が可能。地域において専門分野の薬物療法に精通した薬剤師を育成します。

3 プログラムの企画立案及び実施責任者 薬剤部長

4 就労環境

| | |
|---|---|
| (1)勤務病院の宿舎 | なし |
| (2)薬剤師賠償保険 | 自費 |
| (3)学会、研究会等への参加 | 補助費有 |
| (4)勤務病院で指導薬剤師が取得している専門・認定薬剤師の資格 | 日病薬がん薬物療法認定薬剤師(1人)外来がん治療認定薬剤師(1人)感染制御認定薬剤師(4人)抗菌化学療法認定薬剤師(4人)NST 専門療法士(3人)周術期チーム認定薬剤師(2人)日本臨床救急学会認定薬剤師(1人)医薬品情報技師(3人) |
| (5)取得可能専門・認定薬剤師 ★勤務病院 *協力病院 括弧書きは現在の当院の取得人数 | ★外来がん治療認定薬剤師(1人)★感染制御認定薬剤師(4人) ★日病薬病院薬学認定薬剤師(8人)★研修センター認定薬剤師(1人)日本糖尿病療養指導士(2人)★NST 専門療法士(3人) *がん薬物療法認定薬剤師(1人)*妊婦・授乳婦認定薬剤師(0人) |
| (6)協力病院(過去の実績) | 茨城県立中央病院 茨城県立こども病院 |
| (7)協力病院の宿舎 | なし |
| (8)協力病院での給与 | 当院修学金貸与規程に準じます |

5 指導体制

プログラムが円滑に実施されるように、指導薬剤師(日病薬病院薬学認定薬剤師)が指導の上、研修者の研修到達度を評価する。

6 プログラムの計画

| | |
|---------|---|
| 1年目 | 基本的な調剤業務、製剤業務、注射業務、病棟業務、無菌製剤業務を行います。 |
| 2~3年目 | 病棟業務、外来化学療法室の薬剤師業務を実施 各領域の医療チームに参加可能 |
| 4年目以降 | 日病薬病院薬学認定薬剤師の認定を取得する 各領域の認定薬剤師の認定を取得 |
| 5~6年目以降 | 地域の薬局と連携し、専門分野の薬物療法に精通した 薬剤師を養成します。 |

